

親子参加型！！ ワークショップ「魔王」読み聴かせコンサート



シューベルトの歌曲「魔王」は、豊かな芸術性と起伏に富んだドラマティックなストーリーで世界中で愛されている名作です。バリトンの吉川健一が作品中に登場する「語り手」「父親」「息子」、その子どもを死の世界へいざなう「魔王」の声音を使い分けて4役を見事に演じます。歌唱に先立ち、絵本を使って会場の子どもたちにあらすじを読み聴かせします。演唱は敢えて原語(ドイツ語)でおこない、作品オリジナルの持っている魅力をアピールします。

吉川健一(バリトン)

コンサートの前半は、吉川の十八番であるパパゲーノやドン・ジョヴァンニの Aria を歌うほか、「音楽用語実演ショー」「童謡メドレー」のコーナーも設け、子どもが積極的に参加できるステージの楽しさを親子そろって体験していただきます。

<出演(予定)> 吉川健一(バリトン)、鶴木絵里(ソプラノ)、石野真穂(ピアノ)

<想定されるプログラム>

■パパゲーノの Aria 「おいらは鳥刺しパパゲーノ」で笛を吹きながら登場。

■ドン・ジョヴァンニのセレーナーデ「おいで、窓辺に」で会場の小さな女の子を誘惑！

■童謡メドレー： われは海の子～象さん～シャボン玉～おかあさん～サっちゃん～手のひらを太陽に。

広く親しまれている童謡のオリジナル・メドレー。「象さん」で母親ゾウと子ゾウを声音で歌い分け、「シャボン玉」では実際にステージ上から客席へむかってシャボン玉を吹いて見せます。「手のひらを太陽に」では会場の子どもも一緒に大合唱。

■音楽用語実演ショー： オペラって難しい？ 大声で歌うのは恥ずかしい...。そんな心配がご無用なのがこのワークショップ！ オペラ歌手と一緒に、「p」や「ff」「クレッシェンド」など難しそうな音楽用語を実際演奏してみると、な～んて楽しい！

Ex. お化け屋敷が「クレッシェンド」？ 笑い声は「スタッカート」？ などなど。

歌は誰でも奏でられる最高の楽器。親子で一緒になって音楽用語を楽しみながら大声で実演してみる企画。

■シューベルト「魔王」読み聴かせ： 絵本であらすじを読み聴かせたあと、ドイツ語で歌唱。

「魔王」あらすじ

熱を出した子どもを医者につれて行くため、息子を腕に抱いて夜の闇を馬で駆け抜ける父親。息子は高熱にうなされ、幻聴に襲われる。風に吹かれた葉や木々が、まるで魔王のささやきに聴こえるのだ。息子は結局途中で息絶えてしまう。



左から鶴木絵里(ソプラノ)、石野真穂(ピアノ)

◆◆お問合せ◆◆

株式会社二期会21

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-25-12 Tel: 03-3796-4711 Fax: 03-3796-4710